

「日常生活と心のはたらきに関する縦断調査」の結果報告

このたびは、2015 年度前期と後期に愛知県 (金城学院大学、名古屋大学) にて行ったアンケート調査にご協力いただき、ありがとうございました。1 ヶ月おきに3 度にわたる繰り返しの (縦断) 調査を行いました。

この調査の目的は、社会心理学の観点から、日常生活において喜びやくつろぎを感じたりよりよい人間になろうとしたりする動機づけの強さが、(1) 同じ人のなかでどのくらい安定しているのか、(2) ここ 2~3 日の感情や人生に対する意味の感覚とどのくらい関連しているのかを明らかにすることでした。そのためには、縦断的に調査をする必要がありました。ここで、データを統計的に解析した結果の一部をご報告いたします。

1. 回答者の基礎的情報

- 名古屋市の大学に通う学生 224 名 (3 回すべてに回答したのは 163 名 [72.8%])
 - ◇ 男性 19 名 (平均 19.5±1.12 歳)
 - ◇ 女性 205 名 (平均 19.1±0.65 歳)

2. 測定内容

- **動機づけ** (1 回目、3 回目)
 - ◇ 喜び追求 : 「楽しさを追求すること」、「面白さを追求すること」など 3 項目
 - ◇ くつろぎ追求 : 「気楽さを追求すること」、「やすらぎを追求すること」など 4 項目
 - ◇ 幸福追求 : 「自分の信念に従った行動を追求すること」、「自分自身の力を最大限に発揮すること」など 4 項目
- **感情** (1 回目、2 回目、3 回目)
 - ◇ ポジティブ感情 : 「楽しい」、「ゆかいな」など 8 項目
 - ◇ ネガティブ感情 : 「緊張した」、「恐ろしい」など 8 項目
 - ◇ 安静状態 : 「ゆったりした」、「のどかな」など 8 項目
- **意味の感覚** (1 回目、2 回目、3 回目)
 - ◇ 「有意義である」、「私にはとても意味のあることだ」など 12 項目

3. 動機づけの得点

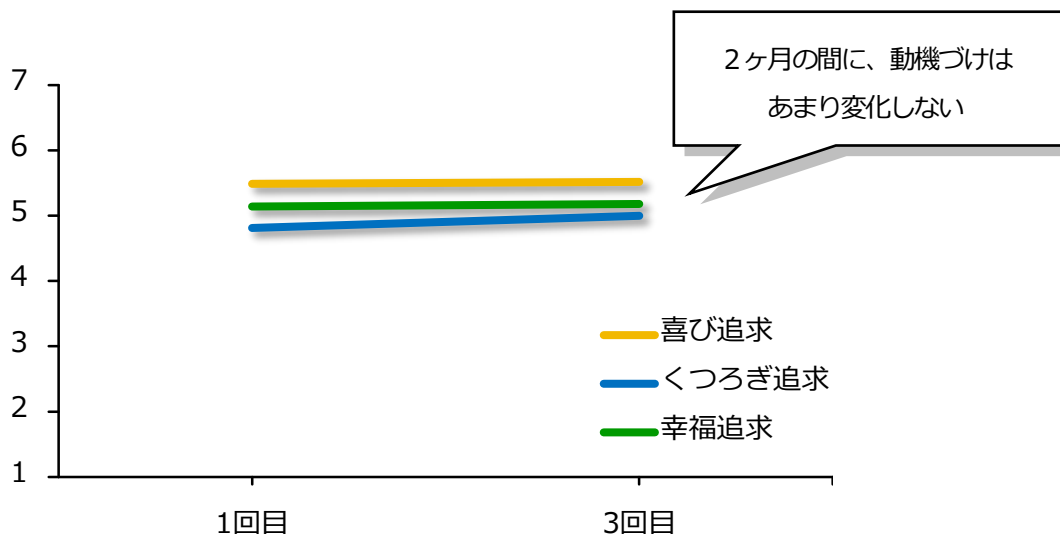


図1 1 回目と3 回目の「動機づけ」得点の推移 (最低 1 点, 最大 7 点)

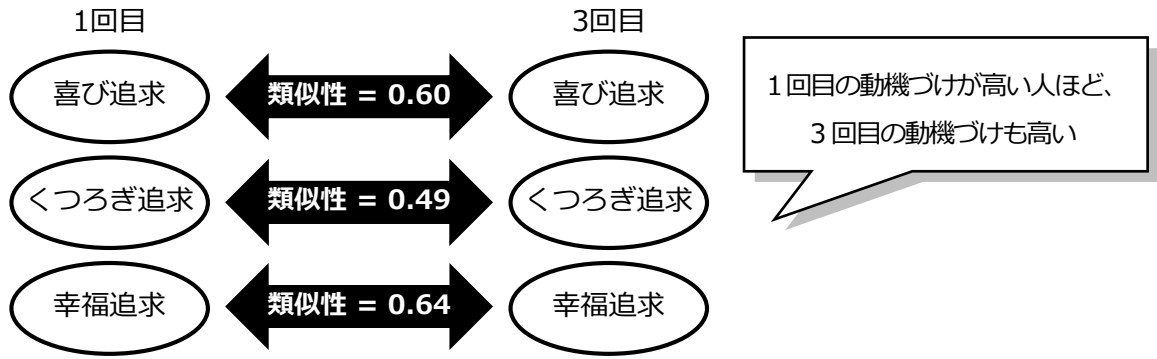


図2 1回目と3回目の「動機づけ」得点の類似性 (最低0, 最大1)

4. 感情の得点

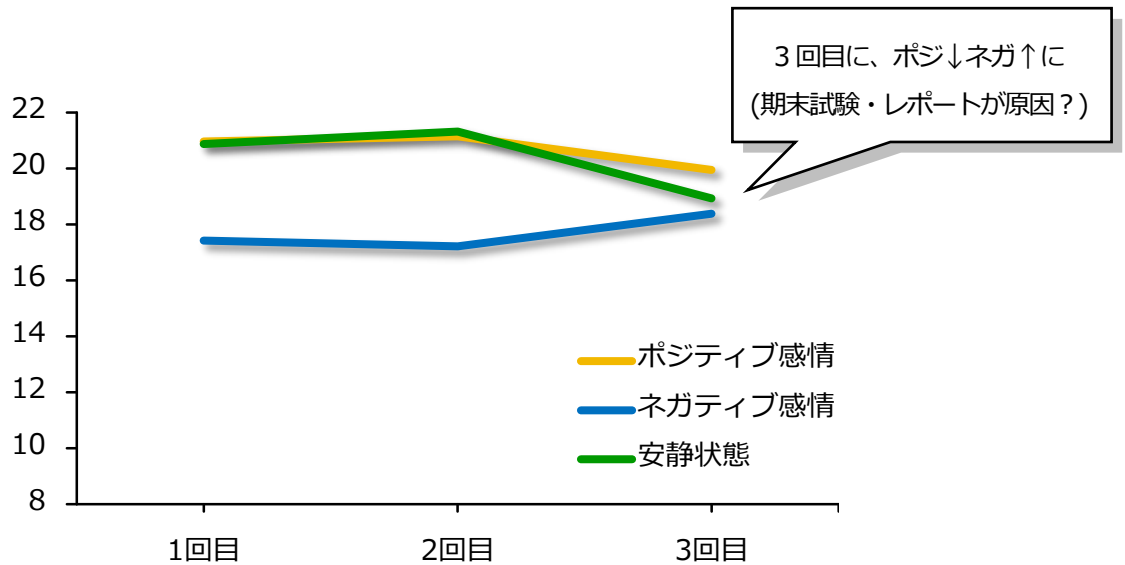


図3 1回目から3回目の「感情」得点の推移 (最低8点, 最大32点)

5. 意味の感覚の得点

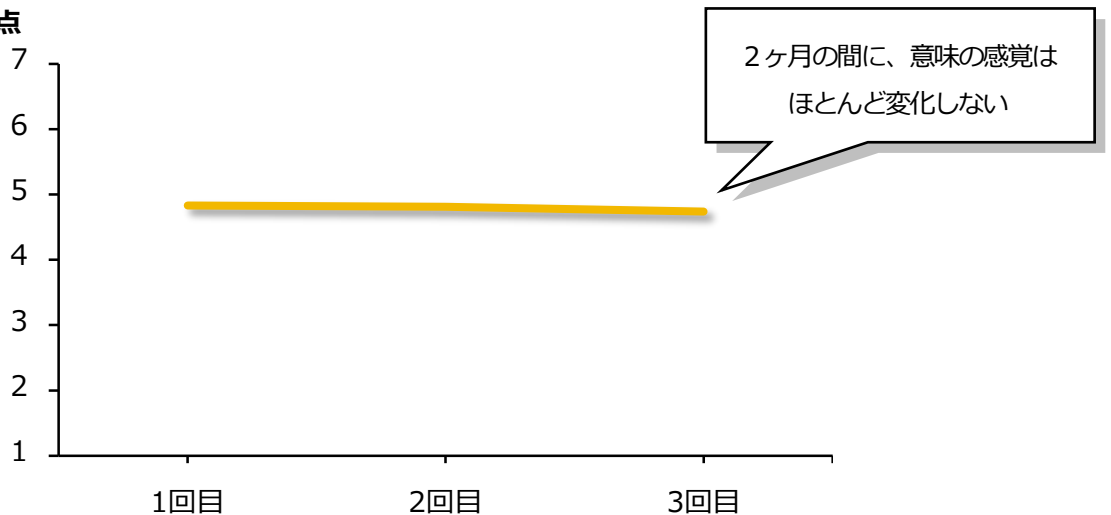


図4 1回目から3回目の「人生の意味」得点の推移 (最低1点, 最大7点)

6. 最後に

今後、このデータに対してより詳しい統計解析を行った後、学会での発表や学術論文としての出版を目指しています。重ね重ね、本当にどうもありがとうございました。